

## 成長の担い手

学校運営協議会会長 鈴木政俊



従来、学校がそれ自体として完結するのではなく、学校を地域社会にオープンにしていこうとの考え方「開かれた学校」(学校→地域)が主流でした。

これに対し、近時は、学校と地域が共に手を携えて子どもを育てるとの基本的な思考から、地域住民も学校と対等な立場で、当事者として、学校運営に関わるように変化が見られるようになりました(学校⇄地域)。

「地域運営学校(CS=コミュニティ・スクール)」は、このような流れの一環で発生し、現在も拡大しています。全国的には、約3万5000校中3分の1の約1万校がCSです。杉並区にあっては、令和3年4月までには区内の全校がCSになる予定だそうです。

協議会委員は、さまざまな出身母体から集まり、それだけに価値観や経験も多様です。学校運営に、できるだけ多くの地域意見を反映させようとするには、多くの視点からものを見る必要があります。望ましいことでしょう。しかし、ものの見方や考えは違っていても、当校生徒のより良い成長を考える点では、一致しています。

CSは学校と地域社会の協働といわれますが、社会を構成する最小単位は、家庭です。したがって、CSの活動を十全なものにするには、家庭、地域、学校のトライアングルが重要であると考えます。このトライアングルの中心に子どもを置くことが肝要です。成長の担い手として家庭、地域、学校の3者が子どもを包む、これによって、中にいる子どもはのびのびと育つことができるでしょう。

成長するのは、子ども本人ですから、子ども自身が成長の担い手であることは間違いありません。子どもが主体的に活動できる場と環境を整える方策を、子どもを取り巻くトライアングルが構築していくことが望まれます。

そのために、具体的に何をすべきか、何ができるか、委員は、区教委や文科省の研修会に参加するなどして研鑽を重ねています。学校で何が行われているか、子どもたちの様子を見ることも必須です。現場を知ることから始め、事態を分析し、方向性を探ります。

重要な任務ですが、肩肘張らずに、長い目で前を向いて考えていこうと思っています。

どうぞよろしく申し上げます。

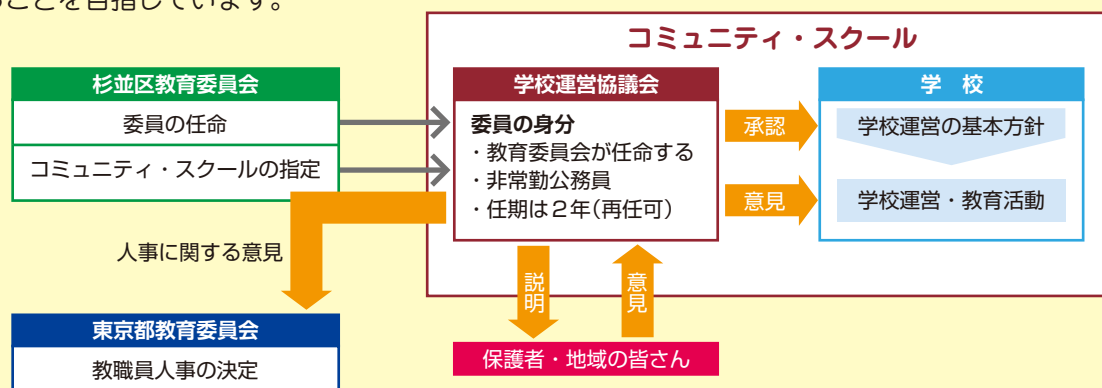
## 学校運営協議会とは？

本校は、平成30年1月に杉並区教育委員会より**地域運営学校(コミュニティ・スクール=CS)**に指定され、学校運営協議会を設置しました。学校運営協議会の構成メンバーは、校長、学識経験者3名、校長推薦4名、公募4名(石井良典、岩間功、大石秀明、河村正明、工藤康男、鈴木政俊、武田裕美、守谷賢二、諸橋記子、柳澤正、横山智彦、渡辺昌輝~氏名は50音順)の12名です。

### 主な役割として

- ◎学校運営の基本方針を承認する
- ◎学校運営・教育活動について協議し、学校に意見を述べる
- ◎学校の教職員の人事に関して、意見を述べる事ができる

の3つが挙げられます。協議会は年10回程度開催され、地域が学校運営に参画し、組織的・持続的な連携・共同体制を構築することを目指しています。



## 今年度の主な協議内容と今後の予定

第1回	6月13日(土)	令和2年度阿佐ヶ谷中学校経営計画について 学校休業期間中、学校再開後の子どもたちの様子について
第2回	7月11日(土)	学校再開後の状況報告 修学旅行について マラソン大会について
第3回	9月26日(土)	CS会長連絡会参加報告 体育大会の開催日と名称の変更について 令和3年度人事について
第4回	10月10日(土)	2年生菅平スキー教室について 特別支援学級連合スキー教室について 令和3年度教職員の任用に関する意見書について
第5回	11月7日(土)	学校の状況報告(スポーツ交流会等) 学校運営協議会広報誌について 教育調査について 令和3年度管理職の任用に関する意見書について
第6回	12月19日(土)	学校の状況報告(オンラインホームルームテスト配信・道徳授業地区公開講座等) 学校運営協議会広報誌について
第7回	1月30日(土)	マラソン大会について CS通信について 教育調査結果に関する検討
第8回	2月27日(土)	学校経営方針及び教育課程の検討 教育調査に関する検討
第9回	3月6日(土)	学校経営方針及び教育課程の承認 次年度の活動方針・活動計画の検討



令和2年12月19日(土)  
第6回学校運営協議会の様子  
(於：開放会議室)



## CS委員からひとこと

学校運営協議会委員 武田 裕美  
学校支援委員会委員



阿佐ヶ谷中学校では平成20年度に準備委員会を立ち上げて、21年度より学校支援委員会の活動が始まりました。

杉並区では学校支援本部として本部長を置いて構成されていますが、準備委員会で話し合いを重ねた結果、本部長を配置せず委員会構成とし事務局を中心に各事業部を置き活動することとしました。委員会制で活動しているのは阿佐ヶ谷中学校だけです。

始まりは部活動支援を中心として、その他に学習の習慣を身に付けるための放課後学習、授業支援補助、各種検定等を行いました。現在は退職された先生にボランティアをしていただき、週一回のあさがや塾も行っています。

時代の変化とともに支援委員会の活動も変わっていかねばならないと思います。支援委員会の活動が始まってから12年、6人の委員で活動してきました。昨年1人増えて今は7人です。委員の年齢も高くなってきました。これからは、新しい委員を増やして世代交代をしていくことが必須と考えています。

委員のほかに卒業生の保護者の方にもボランティアとして活動していただいています。今後は阿佐ヶ谷中学校を卒業した生徒が大学生になった時に、ボランティアとして戻ってきてくれるような仕組みを確立したいと思っています。

これからも生徒の健全育成のために、学校と協力しながら活動していきます。



杉並区立阿佐ヶ谷中学校学校運営協議会

<http://www.suginami-school.ed.jp/asagayachu/>

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-17-3 TEL 03-3314-2261 FAX 03-3314-3572

